

国会議員の皆様へ国会決議の請願紹介をお願いいたします

私たちは、アメリカなどによるイラク攻撃が瀬戸際にきていることを憂慮しつつも、世界各地で大規模な反対運動が広げられ、アメリカの各地方自治体でも戦争反対決議が相次いでいることに戦争回避への希望を捨てていません。

私たちも法律家として平和のために力を尽くさねばとの思いから、国際法と憲法の観点に基づく2月10日付イラク攻撃反対アピールを提案し、1週間で1300人を越える賛同を得ました。これをアメリカ大使館、外務省、内閣府に提出しております。

私たちのアピールは、今国内に巻き起こっている巨大な国民的規模の反戦運動に呼応するもののひとつです。この動きは既に少なからぬ地方議会の反対決議に反映されているところです。

しかし残念ながら、民意を代表する立場にある国会からの平和のメッセージは、いまだに発せられていません。国会議員の皆様は、この事態をどうぞ覧になっていらっしゃるのでしょうか。議員一人ひとりの良識と良心に基づいた意見表明をためらわせる理由が、何かあるとでもいうことなのでしょうか。

私たちは、この機会にひろく国民に呼びかけて、「アメリカのイラク攻撃に反対する」旨の各議院の決議を求める請願を行うことにしました。人類史のゆくえを左右するこの重大な局面において、国権の最高機関において民意の反映としての戦争反対の明確な意思表示が成立することには大きな意義のあることと思います。

憲法12条にも明らかなように、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければ」なりません。私たちは主権者として憲法上の権利である請願権の行使という形式をもって国会議員の皆様へ要請いたします。是非とも、最重要課題である「イラク問題」に関して、戦争反対の国民の意思を両議員の決議に結実させてください。

ついては、別紙のとおり各議院議長宛の請願書を提出しますので、まずは皆様はその紹介議員となっていたいただきたく、心からお願い申し上げます。

2003年3月25日

澤藤統一郎（日本民主法律家協会事務局長）

島田 修一（自由法曹団幹事長）

新倉 修（日本国際法律家協会事務局長）

尾林 芳匡（青年法律家協会弁護士学者合同部会事務局長）

大久保賢一（日本反核法律家協会事務局長）

連絡先 日本民主法律家協会 電話 5367-5430 ファクス 5367-5431

回答書（どちらかを消して、このままファクスして下さい）

議院宛請願の紹介議員となります

紹介議員となることを遠慮します

議員ご氏名

（衆議院・参議院）